



「ストップ・ザ・無縁社会」

地域での支え合い

<http://stop-muen.jp>

TOPICS

支え合いの地域づくりを、 みんなで進めよう

伊丹市では、3月16日(金)に東りいたみホールで『伊丹の「つどい場」のいま、そしてこれから』をテーマに地域フォーラムを開催し、約500名の市民らが参加しました。

第1部では、「もの・場所・コラボレーション・ひと」の4つをテーマに8カ所の活動を動画で紹介。サロン等の運営者と参加者が登壇し、取り組みについて実践発表を行いました。

第2部は、関西学院大学人間福祉学部の橋川健祐助教を講師に、これから求められる居場所について講演がありました。アンケートでは、「具体的な活動を知ることができ分かりやすかった」「居場所づくりが地域住民のつながりを生む大切な活動だと感じた」などの声が寄せられました。



各地の地域フォーラムに7,800名が参加! ～支え合い社会を目指す～

平成29年度に県内11カ所で地域フォーラムが開催され、合計7,800名もの参加がありました。県民、民生委員・児童委員、福祉関係者らが課題を共有し、支え合い社会に向けて協働の輪を広げています。

開催日	開催地	参加者数
7月6日	篠山市	270名
9月2日	穴粟市	300名
11月8日	宝塚市	320名
11月12日	高砂市	2,000名
11月25日	西脇市	2,700名
12月3日	佐用町	150名
12月9日	赤穂市	200名
1月27日	三田市	970名
2月3日	芦屋市	160名
3月4日	新温泉町	230名
3月16日	伊丹市	500名
合計		7,800名

寄付のお礼

3月26日、県福祉センターにおいて、(株)大正銀行および岡三アセットマネジメント(株)から「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンの一層の推進に向けて、寄付金約17万円が贈呈されました。

当日の贈呈式では、(株)大正銀行の吉田雅昭代表取締役頭取、岡三アセットマネジメント(株)の綿川昌明代表取締役社長からご挨拶いただき、吉本知之代表幹事から両社に対し感謝状を贈呈しました。



両社は、「大阪・兵庫応援外国債券オープンファンド(通称:まごころ応援団)」の信託報酬の一部を財源に、平成23年度から寄付を継続しています。

推進協議会では、昨年度の寄付金を活用して全県キャンペーン啓発用の「ユーティリティバッグ」を作成し、「支え合い社会」県民フォーラムや兵庫県社会福祉大会など、多くの方が参加する場で広くPRを行いました。

本年度もキャンペーンの推進に向け、有効に活用させていただきます。厚く御礼申し上げます。

「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーン推進協議会では、皆さまからの協賛金を受け付けています。

お申し出いただく場合は、事務局(県社協企画部 TEL:078-242-4636)までご連絡ください。